

兵庫さい帯血バンクに対する<sup>さいたいけつ</sup>臍帯血の出庫見合わせの要請について

兵庫さい帯血バンクの現状

- 「特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク」は全国に8つあるさい帯血バンクのひとつであり、近隣の産科病院から臍帯血の提供を受け、冷凍保存した上で、移植施設（病院）からの申込みに応じ、年間約130件前後の臍帯血を提供している。
- ※ 臍帯血は、新生児のへその緒から採取される血液。  
この中には血液を作るもととなる「造血幹細胞」が多く含まれており、ドナーから採取される骨髄等と並んで、白血病などの血液がんのための移植に用いられている。[年間さい帯血移植数1199件（平成24年度）]

これまでに判明した事実

- 兵庫さい帯血バンクから出庫時より移植解凍時まで、臍帯血の入ったポリ塩化ビニル製バッグの破損が判明した事例の報告が9件（バンク発足から現在までの全期間。うち、バッグが破損していた臍帯血を移植した事例はこれまでに6件。）
- この他に、移植申込みがあり標本を確認した際に破損がわかった事例が複数あった。
- これまでに具体的な健康被害は起きていないが、破損したバッグは無菌状態が確保されていないため、場合によっては患者の治療の結果に重大な影響を与えるおそれがある。
- バッグ破損の原因は不明であるが、現在兵庫さい帯血バンクにおいて保存されている他の臍帯血バッグの中にも破損しているバッグが含まれている可能性が高い。

兵庫さい帯血バンクの対応

- 各移植医療機関に対し、事実関係を文書で通知（8月17日）。
- 原因究明に取り組む。

厚労省の対応

- 兵庫さい帯血バンクに対し、原因究明までの出庫見合わせを文書で要請（8月19日）。
- 日本さい帯血バンクネットワーク（全国に8つあるさい帯血バンクの連絡協議会）に対し、兵庫さい帯血バンクの保存する臍帯血の公開停止を要請（8月19日）。
- 同様の事象が他のさい帯血バンクで起きていないか各移植施設に対し、調査を実施（9月初旬を目処に取りまとめ）。